

白神山地世界自然遺産登録 30周年記念パネル展

期間 11月30日(木)～12月10日(日)
[休館日：月・火曜日]



青森県と秋田県にまたがる白神山地は、人の影響をほとんど受けていない世界最大級の原生的なブナ林が分布し、平成5年(1993)12月9日、日本初の世界自然遺産に登録されました。

「白神山地と赤石溪流の観光を考える会」は、世界自然遺産登録20周年を前にした平成23年(2011)、鱒ヶ沢町民有志により設立され、10年以上にわたり白神山地や赤石川周辺地域の観光振興に精力的に取り組んでまいりました。

この度、白神山地世界自然遺産登録30周年の節目を迎えるにあたり、これまでの当会の活動を振り返るとともに、自然遺産と歴史・文化遺産の両面から白神山地と赤石溪流の魅力を紹介するパネル展を開催しております。

主催／白神山地と赤石溪流の観光を考える会
協力／津軽白神森林生態系保全センター
鱒ヶ沢町教育委員会

